

2026

10月号
October

Kyushu-kyoku times

九州教区だより

生活を聞法のために—真宗門徒として—

「令和8年熊本地震」について

被災寺院への支援活動は
教区公式HPをご覧ください →



このたびの「令和8年熊本地震」により被災されたすべての皆さまに、衷心よりお見舞い申し上げます。

9月1日現在、54ヶ寺から被害の報告があり、このうち6ヶ寺からは本堂倒壊の甚大な被害の報告がされています。

九州教区では発災直後から、熊本教務支所を現地救援拠点とし、被災されたご寺院の復旧・復興に向け、それぞれの要望に応じた支援活動を行っています。

今後も、被災された方々に寄り添いながら、関係機関・関係者と連携し、息の長い支援活動に全力で取り組んでまいります。

「令和8年熊本地震」に対する救援金のお願い

九州教区では、このたびの「令和8年熊本地震」に対する救援金を勧募いたします。皆様からのあたたかいご支援とご協力を、心よりお願い申し上げます。

【救援金名称】「令和8年熊本地震」九州教区災害救援金

【救援金口座】郵便振替口座番号01980-4-6677

【加入者名】真宗大谷派九州教務所

※通信欄に「令和8年熊本地震」とご記載ください。

■救援金に関するお問い合わせ先

九州教務所(宗派現地災害救援本部) TEL.0942-32-3056





「令和8年熊本地震」災害ボランティア活動への支援について

●「教区災害支援ネットワークの会」に加盟している教区内団体・個人が行うボランティア活動に対する助成（教区助成）

対 象	〈団体〉九州教区内の寺族・門徒が代表者であって、あらかじめ教務所長の承認を得た団体。 〈個人〉九州教区内の寺族・門徒を基本とし、教区内の住職・教会主管者・代務者の同意を得た者。
助成金額	〈団体の場合〉申請1回につき5万円。申請回数の上限は1年間に4回まで。 〈個人の場合〉申請1回につき1万円。申請回数の上限は1年間に4回まで。
申請方法	所定の申請書を九州教務所に提出ください。 ※団体が行う災害ボランティア活動については、参加者名簿を申請書に添付ください。

■「九州教区災害支援ネットワークの会」への入会方法

●詳細はこちら →



- ①「登録フォームの入力」若しくは「登録用紙の郵送」にて基本情報を九州教務所へご連絡ください。
- ②「登録フォーム」若しくは「登録用紙」を確認後、九州教務所担当者から団体代表者（登録者）にご連絡いたします。
- ③九州教務所担当者から登録する基本情報について確認した後、入会手続き完了となります。

●宗派に関連する団体・個人が行うボランティア活動に対する活動費助成（本山助成）

対 象	宗派に関連する団体・個人が行うボランティア活動に係る経費の内、被災者へ提供する食材等の購入経費及び消耗品購入に係る経費。
助成金額	実費助成。1回の活動に対して5万円を上限として助成する。
申請方法	所定の申請書に活動内容を記したうえで支払内容がわかる領収書（レシート）を添付し、活動から3ヵ月以内に九州教務所に提出ください。

「助成金」及び「九州教区災害支援ネットワークの会」に関する問い合わせ先

九州教務所 TEL.0942-32-3056

「令和8年熊本地震」 第1次見舞金の給付について

このたび、「令和8年熊本地震」により甚大な被害が報告されている熊本西組・熊本南組の被災寺院に対し、教区内外からお寄せいただいている救援金から第1次見舞金を給付いたしました。

また、9月10日、特に大きな被害を受けた熊本南組の被災寺院へ、九州教区緊急事態対策委員会の代表者がお見舞いのため訪問いたしました。

九州教区におきましては、今後も引き続き救援金勧募を行い、継続的な支援を行ってまいります。





「令和8年熊本地震」に対する救援金について

「令和8年熊本地震」の発災を受け、下記のとおり宗派や教区等から救援金をお寄せいただいています。ご支援・ご協力に厚く御礼申し上げます。

●救援金合計 **¥28,150,609－**
(2026年9月15日現在)

※寺院・一般 (1,285万609円) 234件

※宗派・各教区等 (1,530万円) 9件

●宗派・各教区などからの教区へ直接お届けいただいた見舞金

教区名	金 額
宗派	5,000,000円
東京教区	3,000,000円
能登教区	3,000,000円
山陽四国教区	1,000,000円
東北教区	500,000円
新潟教区	1,000,000円
金沢教区	300,000円
岐阜高山教区	500,000円
北海道教区	1,000,000円

※各教区等から宗派救援金口座への直接送金は除く。

九州教区における「被災寺院支援」について

現在、「令和8年熊本地震」により被災された地域のご寺院に対して、災害支援物資の配送及びご要望に応じた支援活動(清掃活動等)を行っております。

また、熊本教務支所(現地救援拠点)に軽トラックを配備し、以下の作業のご相談を承っています。



【支援活動内容】

- 本堂・納骨堂・庫裡・境内地等の片付け、災害廃棄物の運搬等
- 災害支援物資の配送等

支援活動のご要望やご相談がございましたら、遠慮なく熊本教務支所又は九州教務所までご連絡ください。被災された皆様に寄り添いながら、関係機関と連携し、復旧・復興に向けた支援活動に全力で取り組んでまいります。

● 熊本教務支所(宗派現地災害救援拠点) TEL.096-324-0608

● 九州教務所(宗派現地災害救援本部) TEL.0942-32-3056



九州教区 非核非戦法要を勤修しました

2026年8月9日(日)、長崎教会(長崎市筑後町)において、「九州教区 非核非戦法要」が勤修されました。

昨年、原爆投下から80年の節目を迎えるにあたり、九州教区では「九州教区 原爆80年 非核非戦法要」及び「九州教区 原爆80年 非核非戦のつどい」を開催し、「非核非戦」の願いを教区内外に発信しました。

80年という節目を経た今年は、その願いを一時的な取り組みとして終わらせるのではなく、これからも「非核非戦」の願いを聞き続け、問い続けていく歩みを確かめる一年となります。

今年の「非核非戦法要」では、会場に約80名、さらにYouTubeでのライブ配信を通じて多くの方々と共に法要をお勤めいたしました。法要では、勤行の後、高橋源一郎氏(作家)より「非核非戦」をテーマに、AIをめぐる現代社会の状況を手がかりとしながら、戦争における人間の在り方、そしてそこから親鸞聖人の教えへとつながるお話をいただきました。

長崎教会では、今後も毎月9日に「非核非戦定例法要」をお勤めいたします。皆さまのご参拝を心よりお待ちしております。

なお、法要の様子は九州教区YouTubeチャンネルにて配信しておりますので、ぜひご視聴ください。



法要の様子



高橋 源一郎氏(作家)

仏教入門講座 in 福岡を開催しました

このたび、お仏壇のはせがわ福岡本店(福岡市博多区)を会場に、第1回目となる「2026年度仏教入門講座 in 福岡(全7回)」が開催され、会場30名、WEB47名、計77名の方々にご参加いただきました。

本講座は、「真宗門徒だけど、じっくり話を聞く機会がなかった」という方はもちろん、「これまで仏教や真宗に触れる機会がなかった」という方にも、お念仏のご縁をひらき、新たに真宗門徒になっていただくことをお願い企画しました。

講師に、川村妙慶さん(大谷派僧侶・番組パーソナリティ)をお迎えし、「はじめての方のための仏教講座－100倍楽しくなる仕事と人生－」をテーマにお話しいただきました。

参加者からは、「妙慶さんの豊富なご経験に基づくお話がとても分かりやすく、自然と引き込まれました」「宗教というと少し身構えてしまうイメージもありましたが、自分の生き方を前向きにするヒントにもなるのかなと気づかされました」といった声が寄せられました。

現在も会場・WEB ともに申し込みを受け付けています。申し込みはこちら ➡



川村 妙慶氏



会場の様子



教化事業等のお知らせ

2026年度 九州教区「新任教師研修会」

「新任教師研修会」は、真宗大谷派教師としての歩みの中で、困っていること、悩んでいることなど、どうしていいかわからないことを語り合う「人と出会う場・共に学ぶ場」を開きたいという願いのもと開催しています。3回目となる今回は、「真宗の仏事」をとおして、一人ひとりが「教師とは何か」を真剣に語り合い、たずねていく場とすべく、九州教務所を会場として開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています。

期 間 2026年11月11日(水)～12日(木) [1泊2日]

会 場 九州教務所 (福岡県久留米市西町540-1)

講 師 菊池 政和氏(熊本東組 江善寺)・育成員研修部門委員

対 象 教師資格を取得して間もない方、
寺院に戻られて間もない方、
その他大谷派教師を志す方、坊守・若坊守

定 員 20名(先着順)

参加費 2,000円(交通費・宿泊補助有)

申込締切 2026年10月30日(金)まで

**2026年度 九州教区
第3回 新任教師研修会**

私が真宗の仏事をとおして教えられることは何か

みなさんは、なぜ「教師資格」を取得したのでしょうか。また、なぜ取得を志すのでしょうか。自ら望んで志された方、人から勧められて決意された方、動機は人それぞれ違います。しかし、これから真宗大谷派教師として歩むことには違いはありません。その歩みの中で、困っていること、悩んでいることなど、どうしていいかわからないこともあるのではないでしょうか。語り合い、話を聞き合う場を開きたい。人と出会う場を開きたい。共に学ぶ場を開きたい。そのような願いのもと、九州教区では「新任教師研修会」を開催いたします。1泊2日の日程ですが今回は真宗の仏事をとおして、一人ひとりが「教師とは何か」を真剣に語り合い、たずねていく場としたいと思っています。

【期 間】 2026年11月11日(水)～12日(木) [1泊2日]

【会 場】 九州教務所(福岡県久留米市西町540-1)

【講 師】 菊池 政和氏(熊本東組江善寺)・育成員研修部門委員

【対 象】 教師資格を取得して間もない方、寺院に戻られて間もない方、坊守・若坊守、その他大谷派教師を志す方

【定 員】 20名(先着順)

【参加費】 2,000円(宿泊・懇親会費別)

【持ち物】 真宗聖典・昭和法要式・直線・五条袈裟・半袈裟・中巻・間衣・輪袈裟・地念珠・白服・筆記用具・洗面道具等・着替え・その他

【申 込】 右下のQRコードからお申し込みください。※10月30日(金)締切
※お電話でのお申し込みも受け付けいたします。

【日 程】 詳細は裏面をご覧ください。

【主 催】 九州教区 教化委員会 育成員研修部門

お問い合わせ先
真宗大谷派 九州教務所
〒830-0038 福岡県久留米市西町540-1

TEL 0942-32-3056(担当:牛島・三枝)
mail kyushu@higashihonganji.or.jp

● 申込・詳細は
こちら➡



※お電話でもお受けいたします。

お問い合わせ先 真宗大谷派九州教務所 TEL.0942-32-3056 (担当:牛島・三枝)



教務所からのお知らせ

真宗本廟奉仕・参拝貯金箱のご案内

九州教区では真宗本廟奉仕・参拝促進の取り組みとして「真宗本廟奉仕・参拝貯金箱」を製作しました。

手のひらに収まるコンパクトなサイズですが、100円硬貨で貯金した場合、約50,000円を貯めることができます。

寺院単位の本山参拝、組門徒会上山研修、同朋の会推進講座後期教習等、あらゆる機会にぜひご活用ください。

なお、同封の用紙をご確認いただき組み立てをお願いいたします。

数量を問わず、無償で配布いたしますので、ご希望の方は九州教務所までお問い合わせください。



(縦8cm×横8cm×高さ8cm)

お問い合わせ先 真宗大谷派九州教務所 TEL.0942-32-3056 (担当:玉井)



慶讃法要各種募集要項のお知らせ

「第2期 九州教区慶讃法要」各種申込概要について

このたび、『第2期 九州教区慶讃法要』[2027年3月4日(木)～7日(日)]における、「一般出仕」「参道列(庭儀)稚児」「帰敬式受式」について、それぞれ募集を行います。教区慶讃法要の厳修をご縁とし、長崎エリアの方々をはじめとした教区の皆様と共に賑々しくこのたびの御法要を荘厳できればと存じます。

それぞれの募集に関する最新情報につきましては、随時教区公式ホームページ・公式LINEにてお知らせいたします。多くの方のお申し込みをお待ちしております。

一般出仕について

対 象	九州教区内寺院・教会に所属する僧侶	詳細はこちら ↓ 
申込方法	申込専用フォームまたは九州教務所までお電話にて申し込みください。	
募集締切	2027年1月29日(金)	

「参道列(庭儀)」稚児について

期 日	2027年3月7日(日)	詳細はこちら ↓ 
対 象	幼児から小学6年生程度	
募集人数	50名(先着順)	
礼 金	6,000円	
申込方法	申込専用フォームまたは九州教務所まで郵送にて申し込みください。	
募集締切	2027年1月29日(金)	

帰敬式受式について

期 日	2027年3月6日(土)	詳細はこちら ↓ 
募集人数	60名	
礼 金	18歳以上…1人 10,000円 18歳未満…1人 5,000円	
申込方法	10月上旬発送予定のチラシを 九州教務所まで郵送にて申し込みください。	
募集締切	2027年1月29日(金)	

敬 弔

ご生前のご功勞を偲び、
謹んで哀悼の意を表します
(2026年8月17日から9月15日まで)

木本 智海 様 (三瀧組 西元寺 住職)

8月24日寂 72歳

御原 千代美 様 (久留米三井組 廣行寺 坊守)

9月 7日寂 92歳

富重 真直 様 (鹿児島組 勝蓮寺 前住職)

9月15日寂 61歳

2026年10月 ● 教区内行事予定表

日 付	時 間	内 容	会 場	講 師
9日(金)	14:00～	非核非戦法要	長崎教会	田中 一成
17日(土)	14:00～	仏教入門講座 in 福岡	お仏壇のはせがわ福岡本店	川村 妙慶
19日(月)	19:00～	福岡都市圏親鸞講座	仏事サポートセンター福岡	青木 玲
28日(水)	15:15～	御命日法話会	仏事サポートセンター福岡	十時 遣

2026年10月 ● 別院・大谷会館・長崎教会・東本願寺熊本会館・門司教会行事予定表

日 付	時 間	内 容	会 場	講 師
2日(金)	16:00～	親鸞聖人に学ぶ会	鹿児島別院	長谷山 法雄
8日(木)	14:00～	大谷会館声明学習会	大谷会館	蒲池 友起
13日(火)	13:30～	第3回 定例聞法会	大谷会館	本田 空、合原 眞一
14日(水)	13:30～	大谷会館坊守会研修	大谷会館	佐野 明弘
16日(金)	10:00～	会館奉仕研修(担当:三瀧組)	大谷会館	菊池 修
17日(土)	8:00～	土曜定例	長崎教会	田中 会響
	9:00～	長崎教会同朋の集い		
21日(水)	13:30～	大谷会館社会講座	大谷会館	高橋 源一郎
25日(日)	16:00～	歎異抄に聞く会	鹿児島別院	太田 智哉
28日(水)	7:00～	宗祖御命日晨朝兼日中・朝粥会	鹿児島別院	別院職員
	10:00～	四日市別院ご命日のつどい	四日市別院	山 香 遼
	13:00～	宗祖御命日定例法座	佐世保別院	別院職員
	13:30～	長崎教会御命日定例法座	長崎教会	教務所員
	14:00～	伊敷支院御命日同朋会	伊敷支院	大谷 直行

2026年11月 ● 教区内行事予定表

日 付	時 間	内 容	会 場	講 師
9日(月)	14:00～	非核非戦定例法要	長崎教会	寺本 温
11日(水)～12日(木)		新任教師研修	九州教務所	菊池 政和
12日(木)	14:00～	査察委員研修会	九州教務所	—
16日(月)	19:00～	福岡都市圏親鸞講座	仏事サポートセンター福岡	青木 玲
21日(土)	14:00～	仏教入門講座 in 福岡	お仏壇のはせがわ福岡本店	川村 妙慶
30日(月)	15:15～	御命日法話会	仏事サポートセンター福岡	福芳 尊法

2026年11月 ● 別院・大谷会館・長崎教会・東本願寺熊本会館・門司教会行事予定表

日 付	時 間	内 容	会 場	講 師
2日(月)	16:00～	親鸞聖人に学ぶ会	鹿児島別院	別院職員
6日(金)～8日(日)	13:30～	門司教会報恩講	門司教会	草野 信之
10日(火)	13:30～	第4回 定例聞法会	大谷会館	菊池 晃、深川 史彦
12日(木)	14:00～	大谷会館声明学習会	大谷会館	蒲池 友起
13日(金)	10:00～	会館奉仕研修(担当:山門西組)	大谷会館	調 友希雄
21日(土)	8:00～	土曜定例	長崎教会	田中 会響
	9:00～	長崎教会同朋の集い		
25日(水)	16:00～	歎異抄に聞く会	鹿児島別院	太田 智哉
28日(土)	7:00～	宗祖御命日晨朝兼日中・朝粥会	鹿児島別院	別院職員
	10:00～	四日市別院ご命日のつどい	四日市別院	御笹 正意
	13:00～	宗祖御命日定例法座	佐世保別院	別院職員
	13:30～	長崎教会御命日定例法座	長崎教会	教務所員
	14:00～	伊敷支院御命日同朋会	伊敷支院	大谷 直行

宗務の傍らで

災害と念仏往生



7月28日に発災した「令和8年熊本地震」で被害に遭われた寺院・教会、ご門徒をはじめとする被災者の方々に対し、衷心よりお見舞いを申し上げます。

当欄を担当するにあたり、その初回にこの大災害についてふれること、ふれなければならないことに大きな葛藤があったし、今もその渦中にある。この葛藤の元にあるものは、この地震災害の「当事者性」にあるように思う。

このたびの震災では、「何らかの被害のあった寺院が54カ寺、うち全壊規模の甚大な被害のあった寺院は八代市内に6カ寺」と教区として公表してきた。これまでに発生した災害との比較や対応などの面からも、状況を数値化して広く報告していくことは、現実的な有効手段である。しかし、被災された現地に入り、その現状を目の当たりにしたとき、その一カ寺一カ寺、一人ひとりの苦しみ、不安、つらさを推し量ることは到底できるものではない。

15年前の東日本大震災によって甚大な被害を受けた(当時の)仙台教区に籍を置く時期があり、教区として「震災からいのちを考える」教化活動が継続されていた。自分は九州出身の、近畿地方から赴任してきた職員。現場の悲しみの声を汲み上げることなんておこがましいことだと感じていた。「当事者性」の欠如である。

教区のある方にその悩みを吐露すると、「ぼくたちも被災した一人ひとりの気持ちなんてわかるはずもない。きみはきみなりの思いで震災に関わってほしい。この震災のことを忘れないでほしい。」との言葉をいただいたことを思い出す。

また、今回の地震災害の後に、ある先生から仰っていただいた。「支援活動は結構だが、宗派としての、真宗大谷派としての活動でないといかん。地獄の中で念仏申す覚悟があるかどうかや。」

「被災されたすべての方に、一日も早く安心して日常生活が送られるように、宗派として教区として出来得る限りの支援策を講じていく。」この言葉が空虚に被災地に響くことがないように、私は私なりの「当事者性」をもって誠実にこの大災害に向き合っていかなければならない。

九州教務所長 寺田 正寛

今月の法語

ゆかり
九州に縁の先師を憶う



好きも嫌いもない
縁ある人は大事な人です

伊藤 元



真宗大谷派 九州教務所

Shinshu Otani-ha Kyushu Kyoku



〒830-0038 福岡県久留米市西町540-1
TEL.0942-32-3056 FAX.0942-39-5077